

日付	2019年8月1日(木)	天候	晴れ
主な日程	アルコール精製工場zilor. サンパウロ大学		
時間	研修内容	研修の写真	
5:30 移動 10:00 アルコール精製工場 zilor.	<p>本日も研修地までは距離があるということで、早朝からバスで出発しました。朝食と昼食はバスの中で取りました。</p> <p>アルコールを精製している zilor. に到着し、最初に敷地内の施設で会社の説明を聞きました。プレゼンや実際の商品見本を見せていただき、会社について理解を深めました。原料となるサトウキビには農薬や化学肥料を使っていますが、最近ではIMPを活用するなど、できるだけ自然や環境に配慮した取り組みを行っていることが印象に残りました。効率を上げながらも環境に配慮されていることを感じました。</p> <p>その後、バスで実際の工場を外から見学しました。最後に、工場内の各所をモニターで監視しているコントロールセンターに行き、中央制御されている様子を見せていただきました。</p>	 	
15:00 サンパウロ大学	<p>サンパウロ大学に行き、日系3世の城田教授に会いました。大学の説明のビデオやプレゼンも見ていただき、大学について詳しく知ることができました。</p> <p>この後に、私たち派遣生10名が日本や岐阜の農業についてと、各校の取組について、英語を用いてプレゼンテーションしました。緊張してスムーズに話せないところもありましたが、新たな試みができ、城田先生から励ましの言葉をいただくことができました。</p> <p>プレゼンと情報交換を終えてから、施設内の卒業生を紹介する立派な掲示物を見せていただきました。ここでも日系の学生が、年々多くなってきていることを知ることができました。</p> <p>最後に、広大なキャンパスをバスで見学し、いろいろな施設を案内していただきました。</p>	 	
20:00 県人会との 懇親・情報交流会	<p>県人会の方々をお招きし、一緒に夕食をしながら交流会をしました。</p> <p>派遣団は、それぞれ別れて座り、県人会の皆さんから移民の歴史や今のブラジルについてお話を聞き、意見交流をすることができました。私はブラジルへの目的が出稼ぎではなく、移住だった家庭の方から話を伺うことができました。そこでは、当時の苦労や今のブラジルでの日系人の活躍について教えてもらうことができ、ブラジルについてさらに深く知ることができました。ですので、県人会の長屋会長さんの話の中に出てきた「ブラジルは日本に遠くて近い国」という言葉も、その意味がよくわかりました。最後にはお互いプレゼントの交換をしたり、記念撮影をしたりもできて、楽しく過ごせました。</p>	 	
1日を終えて	<p>本日もブラジルについていろいろな方面から学ぶことができました。ブラジルでの研修も残り1日となりました。県人会の方に感謝しつつ、今後の研修にもしっかりと取り組んでいきたいと思っています。</p> <p style="text-align: right;">文責：市原 李保</p>		